くろべ 市議会だより



10月19日㈪、市議会議員選挙の当選証書付与式が行われました。

第82号
令和８年11月1日
発　行

発　行　黒部市議会
編　集　広報広聴委員会

議員紹介 …… P2～P3
7月臨時会 …… P4
９月定例会 …… P4～P6
決算特別委員会での審査内容 …… P7～P8
各常任委員会での審査内容 …… P9～P10
各特別委員会での審査内容ほか …… P10～P11
13人の議員が市政を問う …… P12～P19
議会日誌、編集後記 …… P20

紹　介

（掲載順は期数）



松倉（まつくら）　孝暁（たかあき）

（三日市）　２期



宮﨑（みやざき）　孝義（たかよし）

（石田）　２期



長谷川（はせがわ）　恵二（けいじ）

（大布施）　２期



大辻（おおつじ）　菊美（きくみ）

（荻生）３期



柳田（やなぎだ）　守（まもる）

（若栗）３期



柴沢（しばさわ）　太郎（たろう）

（生地）４期



中村（なかむら）　裕一（ゆういち）

（石田）５期



木島（きじま）　信秋（のぶあき）

（村椿）５期



辻（つじ）　泰久（やすひさ）

（田家）７期

新　議　員

任期満了に伴う市議会議員選挙が執行され、17人の市議会議員が決定しました。

任期は令和8年11月1日から4年間です。



猪上（いのうえ）　洋一（よういち）

（石田）　1期



橋詰（はしづめ）　真知子（まちこ）

（大布施）　2期



家敷（やしき）　誠貴（まさたか）

（三日市）　3期



古川（ふるかわ）　和幸（かずゆき）

（浦山）　3期



中野（なかの）　得雄（とくお）

（前沢）　3期



成川（なりかわ）　正幸（まさゆき）

（大布施）　4期



高野（たかの）　早苗（さなえ）

（田家）　4期



小柳（こやなぎ）　勇人（はやと）

（宇奈月温泉）　5期

7月臨時会(7月21日)で決まりました

7月臨時会では市長から「令和８年度黒部市一般会計補正予算（第３号）」などの議案２件が提出され、すべての議案を可決いたしました。なお、すべての議案が全員賛成により可決され、賛否が分かれた議案はありませんでした。

一般会計補正予算

3,560万8千円　**可決**

これにより、補正後の予算総額は **224億6,341万6千円** となりました。

９月定例会で決まりました

９月定例会は、９月１日から９月２５日までの２５日間にわたり開催されました。
初日に市長から「令和８年度黒部市一般会計補正予算（第５号）」などの議案等１８件が提出されました。
最終日には市長から人事関係議案等２件を追加提出し、すべての議案を可決いたしました。

一般会計補正予算

1億　615万5千円　**可決**

これにより、補正後の予算総額は **225億6,957万1千円** となりました。

●本会議の採決における賛否一覧　（賛否が分かれたもののみ掲載しています）

認定＼氏名	橋詰 真知子	野村 康幸	松倉 孝暁	宮﨑 孝義	長谷川 恵二	家敷 誠貴	古川 和幸	中野 得雄	大辻 菊美	柳田 守	柴沢 太郎	成川 正幸	高野 早苗	中村 裕一	木島 信秋	辻 泰久	新村 文幸	賛成	反対
認定第5号 令和７年度地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○		14	1
認定第6号 令和７年度黒部市牧場事業特別会計歳入歳出の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○		14	1

結果賛否：○ … 賛成　　× … 反対

９月定例会人事案件（２件）

任期満了に伴い、下記の候補者の推薦について、適任と認めました。

■人権擁護委員

中　英美　氏（浦　山）

欠員に伴い、下記の候補者の選任について同意しました。

■監査委員

高野　早苗　氏（田　家）

当局提出議案に対する討論（9月25日）

議案第52号から議案第56号、議案第58号(令和8年度一般会計補正予算（第4号）外5件)

賛成討論　大辻　菊美　議員

令和8年度黒部市一般会計補正予算をはじめ、各議案について賛成の立場から討論いたしました。今回の補正予算には、中学校給食費の無償化をはじめ、観光振興、地域産業、有害鳥獣対策、スポーツ振興など、市民生活に直結する施策が盛り込まれています。必要な支援を迅速に進める一方、限られた財源を有効に活用し、各事業の成果を検証することも重要です。「予算を使った」ではなく「何が変わったのか」を市民に分かりやすく示し、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な財産運営を求め、賛成といたしました。

議案第52号から議案第56号、議案第58号(令和8年度一般会計補正予算（第4号）外5件)

賛成討論　家敷　誠貴　議員

令和８年熊本地震や８月の豪雨災害を踏まえ、防災・減災対策や地域防災力の強化について議論が行われた。また、黒部宇奈月キャニオンルートの始動や黒部峡谷鉄道全線運行再開を契機とした観光振興、地域医療の維持などについても活発な議論が交わされた。今議会の議案には、中学校給食無償化、有害鳥獣対策、黒部峡谷鉄道復旧支援、患者支援センター導入に向けた整備など、市民生活の向上と地域活性化につながる事業が盛り込まれており、いずれも着実な推進が望まれる。山積する課題に対し、スピード感とメリハリのある事業推進を要望し、賛成討論とする。

議案第52号から議案第56号、議案第58号(令和8年度一般会計補正予算（第4号）外5件)

賛成討論　成川　正幸　議員

中学校給食の完全無償化やアレルギー等への代替食支援など、子育て世帯の経済的負担を大きく軽減する施策を高く評価する。また、黒部市民病院の医療体制の充実、黒部峡谷鉄道の復旧支援と観光振興、喫緊の課題であるクマ出没対策など、市民の命と暮らしを守る予算措置も妥当である。一方で、特別支援学校に通う児童生徒や不登校、所得要件の境目により現行制度からこぼれ落ちる家庭への目配りも不可欠だ。一人ひとりの事情に寄り添い「優しいまち、強い黒部」を体現する柔軟な支援を要望し、賛成討論とする。

議案第52号から議案第56号、議案第58号(令和8年度一般会計補正予算（第4号）外5件)

賛成討論　長谷川　恵二　議員

中学校給食費無償化を中心とした補正予算には、公約実践を優先されたものと評価し、賛成する。

決算認定に対する討論（9月25日）

認定第5号、認定第6号(令和7年度黒部市地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について外1件)

反対討論　長谷川　恵二　議員

黒部市地域開発事業特別会計の決算には、賃貸期限の過ぎた賃貸地の売却が全く進まず、売払い収入が2年連続０円でもあり、反対せざるを得ない。

牧場事業会計の決算認定についても、一般会計からの繰出し金が過去最大となった上、収入の柱である牧場育成使用料が２割減少。ふれあい事業では入込み客数が大きく減少し、民間委託の可能性すら奪う内容で反対する。

議案第57号及び認定第1号から認定第11号(令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定について外11件)

賛成討論　中村　裕一　議員

本年度は、物価高対策や地域経済支援、避難所環境の改善をはじめとする防災、教育・子育て支援などに着実な成果が確認されました。また、富山地方鉄道とキャニオンルートを結ぶ交通・観光の一体的な振興など、将来を見据えた施策も進められています。 成果をさらに伸ばしつつ課題を改善し、限られた財源と人材を将来へ重点投資して持続可能な黒部市を実現することを強く求め、賛成討論といたします。

決算認定に対する討論（9月25日）

議案第57号及び認定第1号から認定第11号(令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定について外11件)

賛成討論　高野　早苗　議員

令和7年度決算は、一般会計の実質収支が6億3,788万円余の黒字となり、市債残高も減少した。一方、基金残高の減少など課題も残る。避難所の冷暖房機器やトイレトラックの整備、こども家庭センターの設置、農林水産業の担い手支援、キャニオンルートの受入れ準備などを評価する。市民病院は、診療報酬が引き上げられたものの、物価高や人件費上昇により経営環境は厳しい。しかし、新川地域の命を守る基幹病院である。今後も、医療の質と持続可能な経営の両立を図るとともに、決算の成果と課題を市政に反映することを求め、賛成した。

議案第57号及び認定第1号から認定第11号(令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定について外11件)

賛成討論　成川　正幸　議員

一般会計における不登校支援や観光受け入れ体制の強化など、将来を見据えた前向きな事業展開を高く評価する。一方で、多額の公金繰入が常態化している牧場事業については、抜本的なあり方の見直しが急務である。また、深刻な赤字決算となった市民病院には、地域医療の質確保と経営健全化の確実な両立を強く求める。上下水道事業は施設の老朽化を見据え、将来世代に負担を残さない持続可能な経営と料金体系の検討が不可欠である。全職員が財政状況と決算の課題を共有し、次期予算へ確実に反映させることを要望し賛成討論とする。

議員訃報



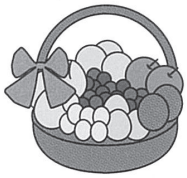
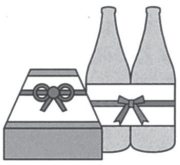
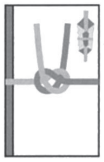
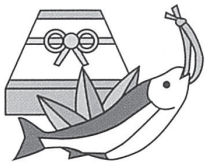
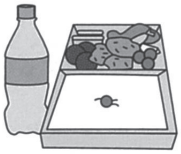
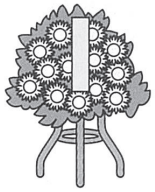
新村 文幸　元議長

令和8年 9月17日（木）

新村文幸議員が逝去されました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

議員の寄附行為及び住民の勧誘・要求の禁止（事例）

 病気見舞い	 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ	 お祭りへの寄付や差し入れ	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝	 お歳暮やお年賀
 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ	 入学祝・卒業祝	 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪

令和７年度決算を認定

（令和７年度黒部市一般会計歳入歳出決算　他）

決算特別委員会　監査委員を除く全議員で構成　委員長：柴沢　太郎　副委員長：松倉　孝暁

9月10日に決算特別委員会が設置され、9月15日から18日までの延べ４日間にわたり開催しました。

各会計決算の主要施策とその成果等の説明を受け、健全な行財政運営の維持と事業に係る費用対効果、さらには市勢の発展と市民福祉の向上に資する的確な執行について慎重かつ詳細に審査を行いました。

一般会計・特別会計

会計名	歳入	対前年度増減率	歳出	対前年度増減率
一般会計	**244億4,761万円**	**1.1%**	**235億1,327万円**	**0.7%**
国民健康保険事業特別会計	32 億 5,989 万円	1.5%	32 億　364 万円	0.4%
後期高齢者医療事業特別会計	13 億 5,198 万円	4.6%	13 億 5,069 万円	4.6%
発電事業特別会計	1 億 8,654 万円	6.3%	1 億 8,654 万円	6.3%
地域開発事業特別会計	1 億 5,249 万円	2135.9%	1 億 5,177 万円	3732.6%
牧場事業特別会計	3 億 2,912 万円	△ 4.5%	3 億 2,912 万円	△ 4.5%
フィッシャリーナ事業特別会計	1,392 万円	1.2%	1,392 万円	1.2%

企　業　会　計

会計名	区分	収入	対前年度増減率	支出	対前年度増減率
病院事業会計	収益的	121 億 6,181 万円	1.7%	129 億 3,111 万円	0.6%
	資本的	7 億 6,802 万円	77.5%	16 億 6,077 万円	10.8%
水道事業会計	収益的	3 億 7,497 万円	1.4%	3 億 7,152 万円	3.0%
	資本的	7,390 万円	△ 71.9%	2 億 7,965 万円	△ 39.1%
簡易水道事業会計	収益的	1 億 3,788 万円	△ 2.6%	1 億 3,826 万円	5.6%
	資本的	9,380 万円	△ 94.9%	1 億 4,958 万円	△ 32.4%
下水道事業会計	収益的	14 億 2,447 万円	△ 7.4%	15 億 4,511 万円	1.5%
	資本的	11 億　259 万円	△ 1.6%	15 億 5,207 万円	△ 6.7%

※収益的収支については、決算額から消費税を除く。
※ 収益的収支：一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用。
資本的収支：設備投資（施設の新設・更新、固定資産の購入等）に対する支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入。

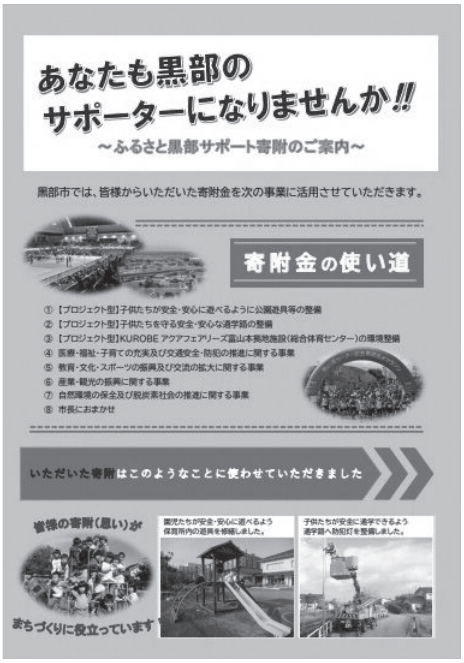
決算特別委員会審査概要

決算審査において多くの意見が各委員から出され、次年度以降の予算編成及びその執行について、留意が必要である主な内容として以下の要望・報告を行いました。

歳入確保の取組みについて

本市の市税収入については、83億9,620万円であり、これは、前年度に比べ4億2,686万円の増収、率にして5.4%の増、また、翌年度に繰り越される収入未済額が、現年度課税分と滞納繰越分を合わせて1億5,436万7千円、不納欠損額が972万6千円となり、依然高額で推移し、特別会計・企業会計の一部でも多額の滞納額が生じている。

税収等については、税負担などの公平性の観点からも、引き続き収納率の向上に努めていただくとともに、未利用財産の売却や基金の運用等、あらゆる観点から歳入確保に向けた取組を望む。

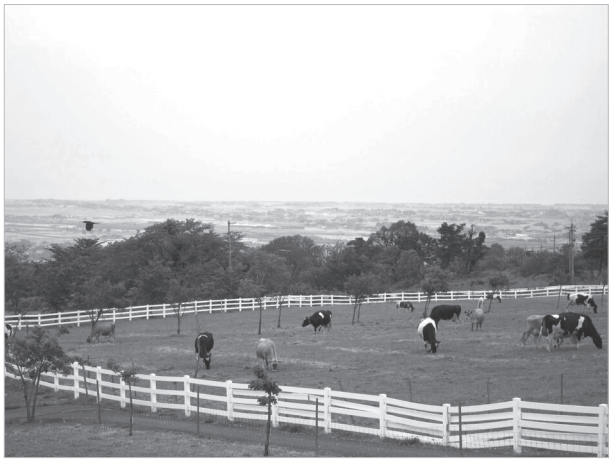


歳入を支えるふるさと納税

市民生活及び市財政運営における将来にわたる安全と安心の確保について

一般会計については、実質収支で6億3,788万4千円の黒字決算であるが、多様な要因重複が、物価の急激な上昇を招き、加えて、国内外で自然災害が頻発する中、今後も市民が安全で安心な生活を営むために、各種の課題解決に向けた施策を引続き継続するには、更に多額の費用を要することが見込まれる。

そうしたことから、経営的視点による事業運営、持続可能な財政運営の確保に向け、これまで以上の施策のスクラップ＆ビルドの推進を求める。



くろべ牧場まきばの風

また、牧場事業特別会計については、一般会計からの繰入金は1億1,735万2千円と、前年度比較し微増にとどめたのは、物価高騰や人件費の上昇の影響等が大きい中で、経営改善に向けた努力は評価でき、引き続き、事業収入構造改善も含め取組を進め、更なる経営改善を望む。

最後に

本委員会で出た意見、要望等について十分ご留意いただき、黒部市総合振興計画後期基本計画のもと、市民一人ひとりが活躍でき、その市民が共に創る「共創」により、本市の更なる活性化を促すことができるよう、この地域にとって真に必要であり、将来へ向かって前進し、つなげられる、「令和9年度黒部市予算」を編成するよう意見とした。

各常任委員会での議案審査

総務文教委員会

委員長：高野 早苗　　副委員長：野村 康幸
委　員：長谷川 恵二　　柳田 守　　成川 正幸　　木島 信秋

★予算（1件）
令和8年度黒部市一般会計補正予算（所管部分）

★条例（1件）
・黒部市税条例の一部改正について

★予算の補正

●教育費

問 10月から先行実施する中学校給食無償化の対象人数・単価・6か月分の内訳、代替食（弁当）持参者の扱いについて

答 中学生940人で積算し、1人当たり月額5890円×6か月分として計上している。このほか、弁当を持参している生徒や、フリースペース「あゆみ」を利用し弁当を持参する生徒等、予備を含め5人分を見込んでいる。

問 中学校給食無償化の対象者の範囲について

答 今回の無償化は黒部市立明峰中学校・清明中学校に在籍する生徒が対象であり、私立学校や特別支援学校等に通う生徒は対象としていない。

〈議案の審査結果〉付託議案2件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

問 給食無償化を義務教育である小・中学校にとどまらず、幼稚園・保育園まで対象を拡充する考えについて

答 義務教育でない幼稚園・保育園については公平性の観点も踏まえる必要がある一方、少子高齢化対策として生活支援の必要性も認識している。財政状況を見極め、行政改革を進めながら財源を確保した上で、段階的に検討していきたい。

問 姉妹都市・根室市との提携50周年記念事業について

答 11月21日に根室市訪問団が来訪、記念式典を実施し、翌日の市制施行20周年記念式典への参加または市内視察を予定している。来訪メンバーは石垣市長・議長のほか、姉妹都市関係者、スポーツ交流団、商工会議所関係者（姉妹都市商工会議所提携10周年）等、総勢約30名の見込みである。

生活環境委員会

委員長：古川 和幸　　副委員長：橋詰 真知子
委　員：松倉 孝暁　　中野 得雄　　辻 泰久

★予算（2件）
令和8年度黒部市一般会計補正予算（所管部分）
令和8年度黒部市病院事業会計補正予算

★条例（1件）
・黒部市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

〈議案の審査結果〉付託議案3件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

問 保育所や幼稚園の副食費・給食費について

答 保育所・幼稚園について保護者から要望があるということも承知しており、財政的な見通しを踏まえて今後検討していく。

問 市民病院について

答 燃料費の見込については価格が少し落ちついてきた状況であり、今後の価格の状況と、ほかの費目も合わせて、病院の費用の予算内で収まることができるか状況を見ていく。看護体制について大きな課題となっているのは、夜勤ができる看護師の不足であり、夜勤の看護師の確保については、採用活動の強化、教育体制の整備、夜勤業務の負担の軽減等を進めていく。

問 インフルエンザ予防接種について

答 インフルエンザの予防接種に関しては、市独自ではなく医師会の協力がないとできないものであり、意見を聞いて調整したい。流行期は例年と比べれば1か月半から2か月早い立ち上がりを見せている。どのように推移していくのか見守り、ワクチンを医師会で検討頂く。

問 保育所施設調査について

答 概算費用や期間、実施の必要性を調査の中で見極めていく。

産業建設委員会

委員長：家敷 誠貴　　副委員長：柴沢 太郎
委　員：宮﨑 孝義　　大辻 菊美　　中村 裕一　　新村 文幸

★**予算（2件）**
令和8年度黒部市一般会計補正予算(所管部分)

★**条例（1件）**
・黒部市森林等の火入れに関する条例の制定について

★**その他（1件）**
・専決処分の承認について（控訴の提起）

★予算の補正

●農林水産業費

問 **クマ対策の果樹伐採事業の対象エリアについて**

答 市街地も含めた市内全域を対象としている。

問 **漁協の卸売市場のシャッター修繕について**

答 卸売市場道路側の大きなシャッターは昭和49年に造られたものであり、6枚を順次更新を行ってきている。平成30年から令和2年にかけて、3枚は更新済みであり、未更新の3枚のうち1枚のシャッターにヒビが発見されたため、更新費用を計上したもの。

〈議案の審査結果〉付託議案3件は、原案を可とすることに決定

★所管事項の意見交換

問 **石田浜海水浴場の安全対策について**

答 石田浜海水浴場の安全対策については、運営協議会で議論をしている。いろんなご意見と提案も含めてご意見として、次年度に向けて協議会で議論の題材として挙げていきたい。

問 **自然災害やインフラ点検でドローンを活用・導入することについて**

答 ドローンについては、利用範囲が非常に広いと認識している。市としても、利用範囲が広いことから、他部署との協議をしていく必要があると考えている。また、ドローン導入に関しては、講習や免許取得等が必要となるため、そういったところも協議していく。

問 **準用河川の管理（浚渫）について**

答 河川の浚渫については、毎年適宜行っている。ただ、場所によっては中洲に土砂が残っている場所もあるというご指摘もあるため、現地を確認し、しかるべき対応をしていきたい。

各特別委員会等での審査内容

観光・都市活性化振興特別委員会

委員長：大辻 菊美　　副委員長：松倉 孝暁
委　員：野村 康幸　中野 得雄　高野 早苗
中村 裕一　木島 信秋　新村 文幸

9月25日の本会議において「観光振興及び交流人口増加による都市活性化」の審査が一定程度、所期の目的に達したとし、その審査を終了すべきものと決定し、本委員会の廃止が議決された。

【審査内容の取りまとめ結果】

平成30年12月定例会において、「観光振興及び交流人口増加による都市活性化について」を付託事件として設置され、これまで、黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放を契機とした取組の調査について、交流人口増加に向けた調査について、道の駅ＫＯＫＯくろべ及び周辺施設の調査について検証してきた。

審査過程において、道の駅ＫＯＫＯくろべの開業、黒部宇奈月キャニオンルートの開業決定が進み、今後の事業展開、進捗には課題があるものの、一定程度の成果が見られることから、各事業については常任委員会において審査することが効率的であると判断し、終了すべきものと決定した次第である。

デジタル化推進特別委員会

委員長：柴沢 太郎　　副委員長：古川 和幸
委　員：橋詰 真知子　宮﨑 孝義　長谷川 恵二
家敷 誠貴　柳田 守　成川 正幸　辻 泰久

9月25日の本会議において「デジタル社会への調査検討について」の審査が一定程度、所期の目的に達したとし、その審査を終了すべきものと決定し、本委員会の廃止が議決された。

【審査内容の取りまとめ結果】

令和3年3月定例会において、「デジタル化推進特別委員会」として設置されて以来、公共施設間の情報共有化、マイナンバー活用方法、ＡＩ・ＲＰＡ利用促進、テレワーク推進による交流人口の増加策、行政手続きのオンライン化、デジタルインフラの整備、その他付託事件に関して、6年に渡り審査してきた。

その間、当局との意見交換を重ねる中で、公共施設予約システムの導入やマイナンバーを利用したコンビニでの各種書類の交付、書かない窓口の導入やＡＩの導入等、デジタル化が進んできた。

また、市議会においてもタブレット端末の導入やチャットツールの導入検討等協議・導入を行ってきた。

こうした中、公共施設予約システムやコンビニでの各種書類の交付件数、黒部市公式ＬＩＮＥの登録者数等には、まだまだ今後の利活用に課題があるものの、一定程度の成果が見られることから、それぞれのデジタル関連事業については各常任委員会において効率的かつ充実した審査を行うことが適切であると判断し、終了すべきものと決定した次第である。

議会改革特別委員会

全議員で構成
委員長：成川 正幸　　副委員長：松倉 孝暁

前期議会改革特別委員会からの申送り事項に関すること

・令和５年８月に各種会議資料をペーパーレス化へ移行
・令和７年３月に黒部市議会議員政治倫理条例に新たに「ハラスメント防止条項」を追加
・令和７年度４月政務活動費の交付を前払い方式変更へ行った。対象経費について協議を重ね、一部を変更
・議員定数に関し、現時点では現状を維持することを確認

今期に取組みを進めたこと

・議会基本条例に基づく前期の議会における取組事項の検証に基づく本会議におけるルールの一部の明文化
・災害発生時等に備えた「黒部市議会業務継続計画（ＢＣＰ）」の策定
・開かれた議会に向け傍聴規則の改正
・「チャットツール」の段階的導入に向けた検討
・議員のなり手不足の課題解消にむけ、令和８年５月に市民アンケートの実施
・令和８年８月に市民との「議員のなり手不足」という課題共有を主題としたシンポジウム「未来を創る市民の力」を開催

次期議会への申送り事項

・議員定数見直しの協議の再開
・議会運営及び議会活動を担う議員を取巻く環境の改善に向けた検討

早期に取組む事項

・議会の見える化の抜本的な強化に向け、市民との双方向な対話機会の創出など情報発信の改善を更に進めること
・更なる円滑な議会運営に向け、更なるデジタル導入に向けた議論継続と実行

継続して議論を深めるべき事項

・選挙公費負担制度の周知及び個人負担軽減に向けた制度に関する議論
・多様なライフスタイルに対応できる柔軟な議会環境のあり方研究
・早急な議員の活動の長期休業におけるルールの明文化
・議員活動の更なる向上に向け、各研修の積極的な受講推進

以上の点を踏まえ、議員を志す、地域の活性化に強い熱意を持つ人材の活躍の場である議会の在り方を市民の期待に応える変革する姿勢を示し続けることが必要であり、申送り事項として判断した。
「議会改革に関わる事項について」はこの報告をもって、今任期中における、本特別委員会の審査及び調査を終えた。
今後、次期任期の議員が、任期中における必要性を考慮しながら、申送り事項の審査の必要性を判断するとした。

行政視察受入状況（令和８年８月～令和８年10月）

●８月４日（火）
宮城県大崎市議会（会派／大地、創清会）
視察事項：黒部市民病院の現状と課題について

政治倫理審査会の開催

黒部市議会議員政治倫理条例第４条の規定に基づき設置された本審査会は、令和８年３月25日付で提出された審査請求事案について、慎重に審査を重ねた結果は下記のとおりです。（抜粋）

○審査内容

本条例に基づき、議長から付託された審査請求事案について、当審査会が実施した事実調査、外部有識者による専門的見解の検討、および本条例に抵触するか否かの判断ならびに措置の具申を公表するものである。

○審査対象議員

新村　文幸　議員	木島　信秋　議員	高野　早苗　議員	成川　正幸　議員
柴沢　太郎　議員	中野　得雄　議員	家敷　誠貴　議員	松倉　孝暁　議員

○審査結果

審査対象議員８名による本行為は、目的の正当性は否定できないものの、その手段・態様において社会通念上相当な範囲を著しく超え、一般職員の就業環境を害する「黒部市議会議員政治倫理条例第３条第７号に規定する「ハラスメント」に該当すると決議した。
よって、請求人の主張を全面的に理解し尊重するものである。

※報告書全文はHPにて掲載しております。

本市のガバナンスと事実解明・説明責任について



代表質問

柴沢太郎　議員（自民志創会）

問　当局が既に利用しているチャットツールを、本年度から議会でも導入する予定だったが、3月の情報漏洩問題を受け、セキュリティ面への不安から気持ちが悪く使用に抵抗を示す議員がいることについて

答　市が利用するチャットツールは、企画情報課長とデジタル推進係長が管理者権限を持ち、アカウント管理や設定を一元管理している。職員はLGWAN環境で安全に利用し、スマホ利用時もスクショ保存禁止などの対策を実施。災害時の安否確認にも有効で、議会利用時は事務局が管理者となり安全性は確保される。

問　アンケート内容や管理体制の不備、職員の不可解な言動で疑念が拡大している。市長の認識・総括・再発防止策について。また、一連の情報流布、そして市内で拡散している疑惑を調査し、報告書を作成し議会や市民に説明責任を果たすことについて

答　総務管理部長が、市長と接する機会の多い管理職を対象にアンケートを実施し、結果を基に改善を申し入れた。集計結果は個人情報に該当しないため公開対象と判断し、情報公開請求にも応じてきた。再発防止に向けてハラスメント防止条例を制定し、第三者調査委員会を設置して客観的な事実解明を進めている。委員会の提言を踏まえ、緊張感と協調性を備えた組織づくりを進める。



黒部市役所

質疑質問の映像リンク

質疑質問（抜粋）

手話通訳及び要約筆記の実施について

聴覚に障がいがある方が本会議を傍聴する際に手話通訳及び要約筆記を希望する場合は、傍聴席において手話通訳等を実施します。なお、議場内発言者横での手話通訳を希望し、議長が必要と認める場合に限り、議場内発言者横での手話通訳を実施します。

申込方法

聴覚に障がいがある方又はその関係者は、申込書（様式第1号）を傍聴希望日の7日前（閉庁日を除く。）までに議会事務局へ提出してください。実施要綱、申込書の様式等については、市議会ホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。

問い合わせ先
黒部市議会事務局
TEL：0765-54-2301　FAX：0765-54-9239

録画配信

本会議録画映像の配信のページには、下のQRからもアクセスできます。



代表質問

野村康幸　議員（自民クラブ）

持続可能な市政運営に向けた組織改編と地域経済を支える事業者支援について

問 新設・一元化で行政対応や決定がどう迅速・明瞭になるか。今後の姿勢について

答 企画政策室下に3課を置き、対話・立案・改革を連動。情報の集約や連携強化で迅速・的確な意思決定を行い、持続的な行政サービスを確立する。

富山地方鉄道に対する本市の姿勢について

問 データや意義を示し、マイレール意識を高める啓発や行動計画について

答 全線維持を前提に公共インフラと位置づける方針転換が示された。日常利用の定着へ向け、利便性や利用環境の向上に努め意識醸成を図る。

観光施策について

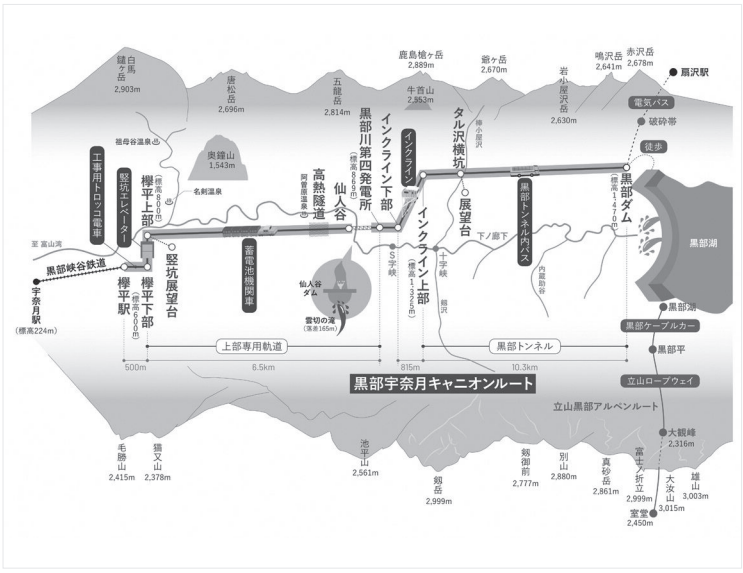
問 キャニオンルート開放の恩恵を地域へ巡らせ、市民意識を育む取組について

答 新商品開発等で市内へ経済効果を波及させる。広報や特番、駅・温泉街の装飾を通じ、市民と観光客が一体となる機運を醸成する。

黒部市民病院経営強化プランの実効性と持続可能な病院経営体制の構築について

問 繰入金の妥当性と、令和9年度黒字化への収支改善計画について

答 支援は赤字補填でなく政策医療確保のため行う。黒字化は厳しいが、病床効率化や経費削減を続け、連携により地域医療を守る。



キャニオンルート地図

質疑質問の映像リンク

各委員会の録画配信を開始しました

市議会では各委員会の審査内容をご覧いただくため、令和８年９月定例会にて開催した各委員会の録画映像のインターネット配信をしています。お好きな時間に各委員会の映像を見ることができます。

各委員会の配信のページには、下のＱＲからもアクセスできます。

■ 録画配信の委員会 ■

- 総務文教委員会
- 生活環境委員会
- 産業建設委員会
- 観光・都市活性化振興特別委員会
- デジタル化推進特別委員会

質疑質問（抜粋）



代表質問

高野早苗 議員（自民同志会）

質疑質問（抜粋）

質疑質問の映像リンク

「災害に強い黒部市」への取り組みについて

問 今回の豪雨を教訓に、地域防災計画やハザードマップを見直し、今後の防災・減災対策にどう生かしていくのかについて

答 豪雨で得た経験を踏まえ、地域防災計画の必要な見直しを進める。防災インフラの整備・機能強化や地域防災を担う人材育成など、ハード・ソフト両面から防災力の向上に努める。



冠水状況

放課後児童クラブの持続可能な運営について

問 保護者や現場の声を踏まえ、地域主体の良さを生かしながら、今後どのような運営体制を目指していくのかについて

答 アンケートでは地域運営の温かさや安心感を評価する声がある一方、市直営による統一的運営を望む回答が半数近くあった。市は、子どもが安心できる生活の場、主体的に過ごせる支援、家庭の子育て支援という3つの目的を安定して実施できる体制を目指し、関係者と意見交換しながら実現可能な運営形態を模索していく。

物価高騰から市民生活と地域経済を守る取組について

問 食料品の消費税減税が実施された場合、地方消費税交付金など黒部市財政にどのような影響が生じるのかについて

答 県の試算を基にすると、地方消費税交付金約1億6千万円、地方交付税約1億3千万円、合わせて約2億9千万円の減収が見込まれる。安定した行政サービスのため財源確保は不可欠で、国による補填の動向を注視する。

今後の市政運営について

問 市政運営に対する基本姿勢と、今後どのように市政を前進させていくのか、市長の所見について

答 市民との「対話」を基本姿勢とし、限られた財源を有効に活用するため既存事業を見直し、選択と集中を進める。「前進」を信念に、市民や議会との対話を重ね、未来へ希望が持てる黒部市の創造に取り組む。

黒部市議会シンポジウム

「未来を創る市民の力」を開催しました

開催概要

日　時	2026年8月3日(月)19:00～20:30(18:30開場)
会　場	黒部市国際文化センター コラーレ マルチホール
主　催	黒部市議会
参加者	約50人
登壇者	黒部市議会議長、魚津市議会議長、滑川市議会議長、石川県白山市議会議長

当日の内容

第1部　市民アンケート結果報告
第2部　先進地事例紹介
第3部　4市議長パネルディスカッション
　　黒部市議会からの決意表明

※詳細はHPに掲載しています。

アンケートで寄せられた主な声（抜粋）

若者が立候補しない最大の理由	件数	順位
選挙活動にお金がかかり、ハードルが高い（地盤・知名度がない）	12件	1位タイ
議会のルールや風習が古く、堅苦しい	12件	1位タイ
仕事や子育て・家庭との両立が難しそう	9件	3位
報酬が低い・生活が不安定になりそう	8件	4位

あれば「やってみてもいいかも」と思える環境	件数	順位
選挙にかかる費用の自己負担を減らすサポート	15件	1位
夜間や休日に議会を開催し、会社員と兼業できるようにする	12件	2位
SNSや動画などで若者向けの情報発信を増やす	7件	3位

移動式エアコン・スポットクーラーの防災上の実効性について



個人質問

橋詰真知子（黒部の恵）　議員

質疑質問の映像リンク

問　移動式エアコンや蓄電池の安全対策について

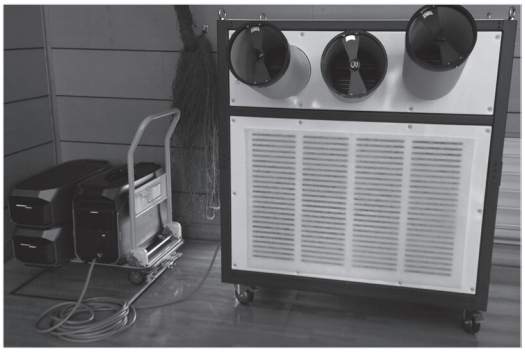
答　移動式エアコンは、児童生徒の活動動線を妨げないよう、壁際等の安全な位置に配置・固定し、必要に応じて防護ネットやカラーコーン等の保護設備を設け、衝突や破損を防止しています。また、蓄電池についても、壁際への配置と衝立やカラーコーンの設置等で保護措置を講じ、衝突などによる破損防止とともに、児童生徒のけがや事故を防ぐ安全対策を図っています。

問　災害時における移動式エアコンの機動的な運用について

答　災害の種別や規模、避難所の開設状況に応じて柔軟に配置先を決定するという認識に変わりはありません。ただし、機器の重量等を考慮し、頻繁な移動は想定していません。

問　移動式エアコンの整備に対する市長の認識と今後の避難所環境について

答　避難所環境の改善として、まずは低コストかつ早急に対応できる手段を活用し、移動式エアコン等の整備を行ったところです。しかし、防災対策にはゴールはなく、引き続き、導入機器の活用効果や有用性について継続的に評価、検証するとともに、社会情勢の変化や国の更なる財政支援を注視しながら、本市にとって最適な避難所環境の在り方について、検討を重ねてまいります。



小学校体育館に整備された移動式エアコンと蓄電池

富山地方鉄道の活用について



個人質問

成川正幸（自民志創会）　議員

質疑質問の映像リンク

問　富山地方鉄道の利活用と将来像に向けた市の基本姿勢について

答　地鉄は市民生活を支える重要な地域資源である。単なる移動手段として維持するのではなく、まちづくりと一体的に活用することが市の基本姿勢である。今後は沿線自治体や事業者、住民と危機感を共有し、利用促進や公的支援を含め、地域全体で支える持続可能な鉄道ネットワークの将来像を描いていく考えである。



電鉄黒部駅

実践的防災について

問　激甚化する災害への実践的な備えと地域防災体制の強化について

答　内水氾濫ハザードマップについては、洪水ハザードマップと想定浸水域が概ね重複するため現時点での作成は考えていないが、既存防災情報の周知や迅速な情報提供により局地的な大雨の被害軽減に努めたい。また、災害時に的確な行動がとれるよう、実践的なアドリブ型避難所運営訓練の実施に向け関係機関と検討していきたい。

共創のまちづくりについて

問　「協働」から「共創」のまちづくりへの転換について

答　「共創」も十分念頭に置きながら取り組んでいきたい。その推進には「共に考え、共に解決する」意識の醸成を図ることが重要と考えている。その上で「共創のまちづくりのガイドライン」策定に向けては、今後も社会全体の動向にアンテナを高く張りながら注視していく考えである。

質疑質問（抜粋）

質疑質問（抜粋）



個人質問

松倉孝暁　議員（公明党）

質疑質問の映像リンク

市民交流センター『あおーよ』WiFi環境について

問 市民がストレス無く利用できるWiFi環境の実現のため通信回線の高速化など必要な改善について

答 時間帯によってはアクセスが途切れたり通信速度が低下することがあるのでどのような対策ができるか検討する。９月末の設備更新時に事業者にも確認する。

市民病院について

問 近年の酷暑を想定した空調設備の増強について

答 外気温や院内室温の推移を継続的に確認し、適切な療養環境や就労環境の維持が困難と判断すれば空調設備の増強を含め必要な対策を行う。

問 認定看護師の複数名の配置を目指した育成について

答 10の専門分野で合計12名の認定看護師が在籍している。専門分野によっては複数名の配置が望ましいが配置できているのは緩和ケアとがん化学療法看護の2分野である。患者に対してより質の高いケアを提供できるよう計画的な人材育成を進める。必要な分野には複数名の配置も視野に入れる。



黒部市民病院

高齢者のRSウイルス感染症について

問 市民への正しい情報提供について

答 RSウイルス感染症は、新生児から高齢者まで年齢を問わず何度も感染を繰り返す急性の呼吸器感染症。高齢者のRSウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症を引き起こすだけでなく重症化するリスクもある。市のHP・公式LINE・高齢者の介護予防教室において情報提供を行う。

問 RSウイルスワクチンの助成について

答 現在は任意接種としての位置付け。国の動向を注視する。



個人質問

長谷川恵二　議員（日本共産党）

質疑質問の映像リンク

漁業の在り方について

問 黒部市の漁業の在り方について

答 フィッシャーマンズ・ジャパンと委託契約を締結し、伴走支援を頂きながら取組を強化している。

問 黒部漁協と魚の駅生地の問題点について

答 問題点を指摘できる立場にない。

上下水道料金の検討委員会について

問 上下水道料金検討委員会の方向性について

答 独立採算制に基づき、経営の健全性を確保していきたい。

問 上下水道料金の分裂状態の解消について

答 暫時格差解消に向け努力していきたい。

災害備蓄用品の配置について

問 浸水被害地域にある石田公民館倉庫に備蓄食料の過半が備蓄されていることの在り方について

答 被害想定区域外となる災害用の備蓄倉庫として活用していきたい。

問 小学校・公民館にベッドとパーティションが別々に備蓄されていることについて

答 避難所となる施設のキャパシティーに制限されている。



石田公民館

各種市政問題について

問 福祉センター・中央児童センターの建て替えで新総合福祉会館建設の要望について

答 いずれの施設も老朽化しており、遠くない将来において建て替えが必要と考える。

問 要介護３以上の要介護者の施設入所待機者の現状について

答 待機者は年々増加しているが、待機期間は短くなっている。

問 4月からのわずか4か月で5か所もの介護事業所が休廃業した。その原因について

答 介護人材の不足が主な要因となっている。さらなる処遇改善が必要となっている。

質疑質問（抜粋）



個人質問　宮﨑孝義　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

上水道・簡易水道施設及び水道管の耐震化について

問　上水道・簡易水道の施設のうち、一つが地震などによって使用できなくなった場合、ほかの施設から給水を補うことについて

答　本市では、災害や事故等に備え、異なる給水区域を相互連絡管で接続し、一部を相互に補完できる体制を2箇所整えている。魚津市との市境で荒町地区と経田地区を接続しているほか、中坪配水場と音沢東山を接続し、互いの給水区域の一部を補完できる体制となっている。

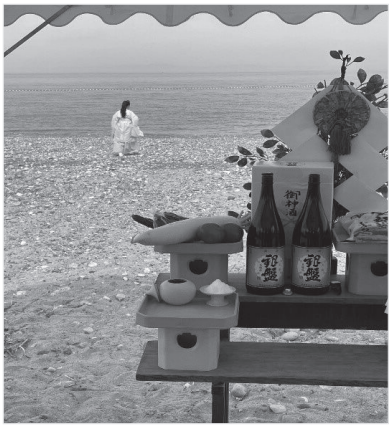
問　停電時でも非常用発電設備を用いて取水・配水を継続できる体制について。また、どの程度の時間、運転を継続できるのかについて

答　非常用発電設備を備えている施設は中坪配水場のみで、A重油を燃料とし、約48時間の連続運転が可能となっている。

石田浜海水浴場について

問　石田浜海水浴場を将来にわたって残し、より多くの方に利用していただける魅力ある海水浴場としていくため、市としての取組について

答　釣り、散歩、ランニングなどで利用される貴重なスポットであり、石田浜周辺を観光交流拠点として位置付け、地域の協力を得ながら情報発信や観光振興に取り組んでいく。



石田浜海水浴場海開き



個人質問　大辻菊美　議員（自民クラブ）

質疑質問の映像リンク

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて

問　「新しい認知症の考え方」の施策への反映及び認知症本人の意思等が尊重され、自分らしく暮らし続けられる地域づくりの推進について

答　これからの超高齢化社会における本市にとっても、基盤とすべき重要な考え方の一つである。令和9年度から11年度までを計画期間とする次期の「黒部市高齢福祉計画」を策定することとしており、認知症基本法で定める、市が策定する認知症施策推進計画を一体的に包含した計画にすることとしている。国が進める「共生社会に実現を推進するための認知症基本法」で定める「新しい認知症の考え方」の基本理念を位置づけていく。

子どもたちが安心して遊べる屋内・屋外の遊び場の整備について

問　子育て世代の屋内遊戯施設に関するニーズや要望の把握状況について

答　令和7年度からの5か年計画である第3期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、未就学の子どもを持つ保護者を対象に実施したアンケート、また「黒部市のまちづくりフォーラム」においても、屋内遊戯施設の整備に関する意見や要望をいただいている。様々な所で要望や意見をいただいており、ニーズが高いものと感じている。



根室市わんパーク

質疑質問（抜粋）



個人質問　辻　泰久　議員（自民クラブ）

質疑質問の映像リンク

北方領土問題について

問　ロシアのプーチン大統領の択捉島への突然の訪問について

答　プーチン大統領による今回の択捉島訪問は、北方領土の返還を願い、長年にわたり努力を重ねてこられた元島民の方々をはじめ、関係者の皆様の心情を踏みにじるものであり、極めて遺憾である。本年は、根室市と本市が姉妹都市提携50周年という節目の年であり根室市との絆をさらに深め、ともに返還運動を推進していく決意を新たにしてまいりたいと考えている。

障害者の雇用について

問　本市の障害者の雇用率について

答　本年7月から法定雇用率が2.8％から3.0％に引き上げられたことから、市役所と市民病院を合わせた市全体の9月現在の実績は、雇用率2.4％になっており、基準人数30人に対し、雇用数は5人不足となっている。

8・8・8の婚姻届けの概要について

問　本市における令和8年1月から6月までの出生数について

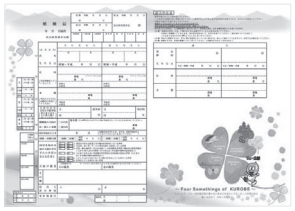
答　住民基本台帳に基づく集計で、合計77人である。

問　令和8年1月から6月までの自然増減について

答　死亡数256人、出生数77人で差引179人の自然減である。

問　令和8年8月8日の婚姻届けの状況について

答　令和8年8月8日の1日での婚姻届けの受理件数は12件である。令和8年1月から7月までの月平均の受理件数は、約11件であり、今回は1日だけでほぼ1か月分に相当する婚姻届けの提出があった。



黒部市オリジナル婚姻届



個人質問　家敷誠貴　議員（自民同志会）

質疑質問の映像リンク

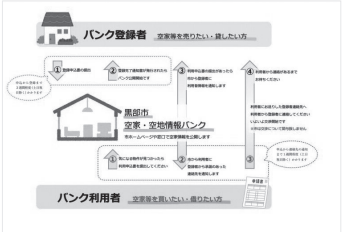
中古住宅市場の活性化を好機と捉えた施策について

問　移住者や子育て世帯が中古住宅を取得・改修しやすくする支援策について

答　住宅取得支援補助金や空き家バンク活用促進補助金などを設けており、各種制度を活用することで最大390万円の補助が可能。令和7年度の申請総数は47件となっている。

問　空き家バンク登録促進や支援策拡充について

答　空き家バンク登録件数は令和6年度35件から令和7年度55件へ増加。今後は所有者への直接通知などにより登録促進を図るとともに、住宅取得・改修支援制度の周知に努める。



空き家バンクチャート図

宮野運動公園の観光利用について

問　芝生広場や野外ステージの活用について

答　今後もイベント誘致を推進する。また野外ステージは改修を進め、利便性向上も検討する。

豪雨災害に対する備えについて

問　消防団と連携した訓練について

答　黒部川総合水防演習や市総合防災訓練を実施しており、今後も訓練や講演会を通じて消防団との連携強化を進める。

放課後児童クラブの課題解決について

問　支援員の確保と処遇改善について

答　本年4月時点の支援員等は91人で必要な配置は確保しているが、人材確保は課題となっている。処遇改善や研修機会の充実により資質向上に取り組む。

質疑質問（抜粋）



個人質問

古川和幸 議員（自民クラブ）

富山地方鉄道線本線と公共交通について

問　駅周辺利活用と公共交通について

鉄道の利活用について、送迎やバス、タクシー、自家用車等様々な移動手段でのアクセスがあり、駅周辺には、それらに応じた整備が必要と考えている（パークアイランド等）また公共交通は、地域で暮らす市民生活を守る為、公共交通ネットワークの維持・確保は不可欠であり、今後はデマンド交通の拡大やＡＩ技術導入やライド・シェアを含めて研究していく。



富山地方鉄道

「黒部まちづくりフォーラム」について

答　今後の方針と市政運営について

「まちづくりフォーラム」とは市民との対話を通じ、市民の声を市政運営に活かし、次世代につなぐ魅力ある黒部づくりを目指す。現在「子育て支援」「障がい者支援」テーマで開催し、次回は「地方鉄道の再構築」について開催予定。富山地鉄の厳しい現状や存続に向けた検討状況や鉄道がもたらす社会便益について、市民の声を聞く。

黒部市内の公立保育所の在り方ついて

答　公立保育所の施設規模の適正化と統合について

こどもの健やかな成長を支える保育環境の維持・充実を図る観点や、限られた保育人材の適正な配置により公立保育施設の役割を果たしていく観点から、民間保育施設の動向も踏まえ、公立保育施設の施設規模の適正化や配置について、将来を見据えた整理、検討を進めていく。

質疑質問の映像リンク





個人質問

中野得雄 議員（自民同志会）

くろべの伝承芸能について

問　伝承芸能団体への助成金増額について

現在、保存会に10万円・市指定保存会に5万円・獅子舞保存会に3万円を補助し、昨年度までの3年間はコロナ禍対応として行った。今後は社会情勢を見ながら検討したい。

答　次世代へ送り継ぐ施策について

各小学校で運動会や地区行事で披露を行い、清明中学校では新布施谷節の歴史と踊りについての時間を設定している。今後も子供達に地域芸能に親しむ機会を設ける。


黒部踊り

くろべの農業諸課題について

問　有害鳥獣対策について電気柵設置助成の拡充について

今後、中山間地地域においては後継者不足問題等が懸念される中、維持管理・設置費について引き続き国・県に働きかけ、市独自の助成制度も活用していただきたい。

問　令和8年度産米の価格下落が報じられているが、今後、くろべの稲作への影響について

答　昨年2万9千円／60kgであったが、今年は2万円／60kgと大きく下落している中、農業経営に悪影響を及ぼすことを懸念している。農業従事者の皆さんが安心して経営を維持できる環境を整える。

答　くろべの農業を守る「中長期行支援」について

圃場の大区画化とスマート農業の積極的な取り入れを支援し、販路拡大に向けた「黒部米魅力発信プロモーション事業」を積極支援し、ふるさと納税返礼費として「黒部米」として登録する。

質疑質問の映像リンク





９月定例会最終日　議場にて

12月定例会の日程（予定）

市議会12月定例会の日程については、決定次第、黒部市議会ホームページに掲載いたします。
または、お電話にて黒部市議会事務局へお問合せください。

◆お問い合わせ先
黒部市議会事務局　TEL:0765-54-2301

議会を傍聴しませんか

議会活動や市政の状況を知るために、議会を傍聴してみませんか？
傍聴の際には、市役所4階の受付で、住所・氏名をご記入ください。

◆お問い合わせ先　議会事務局　TEL54－2301
インターネット中継は、市議会ホームページからご覧ください。

議会日誌　8月～10月

8月

21日（木）
　政治倫理審査会
25日（火）
　議会運営委員会

9月

1日（火）～25日（金）
　9月定例会
25日（金）
　全員協議会
　広報広聴委員会

10月

11日（日）
　市議会議員選挙告示日
19日（月）
　市議会議員選挙当選証書付与式

編集後記

市議会議員選挙を経て、ここに新体制による市議会がスタートいたしました。

地方自治を取り巻く環境が多様化・複雑化するなか、議会が果たすべき決定責任と監視機能の重要性は益々高まっております。広報編集委員会といたしましても、議会における議論の過程や決定事項を正確かつ公正にお伝えし、市民の皆様に信頼される「開かれた議会」の推進に全力で努めてまいる所存です。

今後とも、本誌および市議会活動に対する変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報広聴委員会

委員長	中野	得雄
副委員長	高野	早苗
委員	辻	泰久
	中村	裕一
	成川	正幸
	柴沢	太郎
	柳田	守
	大辻	菊美
	古川	和幸
	家敷	誠貴

正副議長及び各委員会の委員長で構成

黒部市議会事務局　〒938－8555　富山県黒部市三日市1301　TEL 0765－54－2301　FAX 0765－54－9239
E－mail　gikaijimukyoku@city.kurobe.lg.jp